

まずはココから
始めよう！

チヌ・フカセ釣りの必須アイテム 配合エサ入門

ふだん何気なく使っている配合エサですが、実はさまざまな役割を担っています。その重要性の再確認をしてみましょう。

配合エサの役割

チヌのウキフカセ釣りに欠かせない配合エサ。この釣りはまず魚を寄せることが重要になりますので、その存在は必須であるといえます。ほとんどの方はオキアミと組み合わせ使われていると思いますが、ここでは配合エサのメリットをおさらいしてみましょう。

まず、オキアミだけではなしえないこととして、チヌの好む濁りを生み出してくれる効果があります。また、遠投したり深いタナを攻めるための、重さやまとまりを加えることもできます。たとえばオキアミだけで遠投しようにも、投入時にバラバラになってしまい攻めるべきエリアには届きませんし、深タナを攻略しようにも、まとまりの

ないオキアミだけでは、深い層まで思ったように届いてくれません。ですからオキアミに配合エサを加えることで、攻略エリアが広がるということがいえます。

さらに配合エサには、それ自体に魚を寄せる成分（酵母など）が含まれています。ものによっては、チヌの視覚を刺激させるムギが配合されていたり、海中で目立つように白くしているものもあつたりし、オキアミが持つ集魚効果にプラスアルファのパワーを与えることができるのです。

用途に応じてブレンドしよう

配合エサは多くの種類が発売されており、集魚力に秀でたもの、遠投性に



優れたもの、増量効果に重点をおいたもの、オールマイティに使えるものなど、一つひとつに得意分野があります。単品でも充分に威力を発揮してくれますが、いくつかの配合エサをブレンドすることで、それぞれの短所を補い、長所を伸ばすことが可能になります。例を挙げると、厳寒期でチヌの活性

が低く、かつ釣り場は水深があるために深いところを攻めなくてはいけないときなどは、集魚力の優れた配合エサと重さのある配合エサをブレンドすればいいというわけです。各配合エサの特長をしつかりと理解し、ブレンドもチヌ釣り戦略の一環としてお楽しみください。



配合エサのブレンドは、チヌ釣り師にとって欠かせない戦術。

実釣時の使い方

オキアミ+配合エサの組み合わせでより効果的に釣りが行なえることは理解していただけたと思いますが、混ぜ方によって、さらに思い通りの釣りを展開することが可能になります。たとえば、練り込むことでまとまりを強化したり、かき混ぜるだけで拡散性を重視したりといったことができます。

使い方にしても、ちよつとした工夫を凝らすことでバリエーションが生まれます。一般的などころでは、バツカンの壁にヒシヤクを押しつけてオキアミと配合エサを詰め込むことで、深ダナ攻めや遠投に適した硬さを与えられます。ほかに、まずは硬めに仕上げたおいて、ヒシヤクですくって水くみバケツでさつと一回水にくぐらせたりするのも有効なテクニク。こうすることですぐにバラけるよつになるので海面で拡散するエサ取り用、硬いままの本命ポイント用と、打ち分けることができるのです。

付けエサにも気を使おう

付けエサは、オキアミを使うのであれば、専用に加工されたタイプが薦



付けエサのハリ付け方法などでも、釣果は変わってきます。いろいろ試してみましょう。

めです。気温の高い夏場でも変色しにくく、チヌが好む成分などが含まれているため、食いも抜群。身がしっかりしているため、遠投時や深ダナ狙いなどでも安心して使えます。

また、オキアミ以外にも練りエサ、コーンエサなどいろいろなものも売られています。食いが悪ければ、オキアミエサのやわらかなタイプを、エサ取りが多ければ練りエサやコーンエサといったよつに、さまざまな状況に対応できるよつ、いくつかの種類を用意しておくよつにするとよいでしょう。

次ページからは、7人のチヌ釣り名人の春夏秋冬ことのお薦めのブレンドパターンを紹介。巻末には、登場したすべての配合エサと付けエサのカタログも掲載しています。ぜひ参考になさり、実釣にお役立てください。

CONTENTS

配合エサ入門	1
遠矢国利 「くわせダンゴ」が効く!	3
岡田 進 “近く、浅く”がキーワード!	7
高岡末男 軽い仕掛けで浅～深ダナまで!	11
大谷善正 難敵チヌを釣る!	15
川原直毅 配合エサがチヌ釣りの主役!	19
大知 昭 必読!“遠投浮かせ釣法”!	23
高園 満 状況に応じた釣りを!	27
配合エサカタログ	31
付けエサカタログ	33

オールシーズン チヌ 黒鯛 攻略術

配合エサを使いこなそう!